



## 学校教育目標

「賢く 優しく 逞しく」

夢や目標に向かってチャレンジする児童の育成

## ～「節分」を前にして思うこと～



2月といえば「節分」です。暦の上では立春を迎えようとしており、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。本来、「節分」とは季節の節目にある立春、立夏、立秋、立冬の前の日のことを言い、実は年に4回あります。立春の前日に行われる「節分」は、古くから日本で大切にされてきた伝統行事の一つです。それは、旧暦で正月節にあたり、2月の「節分」は1年の始まりとして特に重んじられてきました。

昔の人々は、季節の変わり目には、病気や災いなどのよくないことが起こりやすいと考えていました。そこで、そうした悪いものを「鬼」にたとえ、豆まきをすることで追い払い、新しい季節を元気に迎えようとしたのが「節分」の由来とされています。「鬼は外、福は内」という言葉には、悪いことを遠ざけ、幸せを呼び込もうとする願いが込められています。また、自分の年の数だけ豆を食べる風習には、「一年間を健康で無事に過ごせますように」という思いがあります。

このように、日本には昔から伝わる伝統行事があり、それぞれに人々の大切な願いや思いを伝えて、今もなお伝承されています。生成AIの到来、少子高齢化社会、グローバル社会等、目まぐるしく変わり予測不可能な現代社会だからこそ、日本の伝統行事や地域に伝わるいろいろな行事や人々の思いに関心を持ち、伝統を忘れることのないようご家族で一緒に話してみるのもいいかもしれません。

## 入賞おめでとう！

### 【第六十一回新春読書感想文コンクール】

#### 地区優秀賞

田中 康一朗 (一年)

「ライオンのくのにのねずみ」をよんで

### 【「神崎・くさくさと学習」子どもマイスター】

#### ○子どもマイスター 研究論文

中村 未来 (三年)

「知つてほしい！ヒシのひみつ」

### 【新年書き方会】

#### ○硬筆の部

#### 地区特選

北島 悠聖 (四年)

垣副 ゆり (五年)

樋口 穂香 (六年)

#### 地区入選

直島 桃子 (一年)

仁井 茉央 (一年)

天本 瑞希 (三年)

村上 陽菜 (三年)

原口 恵介 (四年)

古田 一芽 (四年)

境 香澄 (五年)

#### ○毛筆の部

#### 地区特選

坂井 大祐 (四年)



「がんばってみよう！チャレンジしてみよう！」  
という気持ちがとてもうれしいです。

吉岡 幸姫 (五年)  
新井 ひより (六年)

#### 地区入選

直島 歩 (三年)

西川 日菜 (三年)

江頭 零 (四年)

園田 陽彩 (五年)

富田 真央 (五年)

杠 心香 (五年)

井手 瑞人 (五年)

松尾 泰武 (六年)

### 【第二十六回アバンセ杯放送コンクール】

#### ○アナウンス部門

#### 奨励賞

原口 恵介 (四年)

樋口 優妃 (六年)

### 【第二十回神崎市青少年主張大会】

#### 優秀賞 (大会で発表)

莊山 結愛 (六年)

「ポジティブに生きる」

入賞 (冊子に掲載)

榎 太一郎 (五年)

「ぼくの3Rチャレンジ」

【神崎市子どもクラブ連絡協議会  
活動実績発表会】

入賞 (実践を発表)

藤西 子どもクラブのみなさん

